

## 令和5年度 第1回 えちぜん鉄道活性化連携協議会 議事録

日 時： 令和6年3月1日（金） 14：00～15：25  
場 所： 福井県織協ビル6階602号室  
出席者： 別紙出席者名簿のとおり  
資 料： 別紙資料のとおり

### 開会

#### 1 会長挨拶

#### 2 議事

規約第8条第2項により、座長が会議の議長となって議事が進行された。

#### 報告（1）乗車実績等について

えちぜん鉄道より資料説明（報告1資料参照）

##### <質疑応答>

##### ○委員

大変人気のある恐竜列車の乗車率が100%でないのはどのような理由か。

##### ○えちぜん鉄道

予約の段階では100%であったが、大雨等によりJRが運休になったことで当日来られなくなった方やお子様の体調不良で当日キャンセルされる方がいらっしまった影響により乗車率100%とはなっていない。

##### ○委員

年度が替わると電車に乗り慣れていない学生等がいると思うが、乗客の乗り方の部分で気になることはないか。

##### ○えちぜん鉄道

新年度は電車に不慣れな学生が多い。コロナ前の取組ではあるが、混雑が予想される駅に社員を配置して乗り方のご案内や乗車後ドア付近で立ち止まらないよう分散のお願い等を行った。今年度も状況を見て行っていきたいと考えている。

##### ○委員

現在4種踏切はどれくらいあるのか。

##### ○えちぜん鉄道

えちぜん鉄道では、1種、3種、4種踏切があり、全部で134か所ある。そのうち4種

踏切は、23か所ある。市町別の割合としては、永平寺町が12か所と最も多い。3種及び4種の踏切事故は、運輸安全委員会の調査対象となるが、令和5年度は現時点で踏切事故は発生していない。注意喚起は、看板の設置等に対応している。

○委員

踏切の廃止や整備については、安全性や地域住民の方々のご意見を伺いながら進めてほしい。

○委員

踏切の廃止や整備に関してだが、住んでいる方々の高齢化が進み、今までとは身体能力が落ち、安全性がより低下するということも考えられる。そのようなことも、しっかり認識した上で、国の補助金等を活用して取り組んでいただきたい。

○委員

バリアフリーについて、車イスでの利用が難しい駅はあるのか。ある場合の改善計画等はあるか。

○えちぜん鉄道

構造的にバリアフリー化が難しい駅があり、現状としては事前にご連絡いただければ係員を派遣して介助を行っている。また、突発的に利用される場合は、運転士とアテンダントで対応している。今後もバリアフリー化については、しっかりと検討していきたい。

※他に意見がないことを確認し、報告（1）終了

報告（2）国への要望の実施について

事務局より資料説明（報告2資料参照）

<質疑応答>

○委員

地域鉄道の安全に向けての支援と災害時の復旧費用の拡充についての要望であるが、安全に向けての支援である車両の検査費用の補助については、今回多数の要望があったため、査定が入った状況である。災害時の復旧費用の拡充については、現在の制度では代行バスの運行費用などの間接的な費用は補助対象外となっているため、制度の変更も含めて検討をお願いしていく。

※他に意見がないことを確認し、報告（2）終了

## 報告（3）えちぜん鉄道交通圏地域公共交通計画主要施策の進捗状況について

事務局より資料説明（報告3資料参照）

### <質疑応答>

#### ○委員

今年度はサポート団体の活動として、4年ぶりにイベント電車を開催することができた。今後もサポート団体として新しい企画を考え、乗って残す運動を活性化させていきたいと考えている。特に、子どもは電車が大好きなので、孫と電車に乗るような企画等に力を入れていきたい。

#### ○委員

現在、電車・バス等で運転士不足が課題となっており、運転士確保に向けて色々と取り組んでいるところであるが、資料7ページの電車運転体験は、貴重な職業体験として将来の職業選択をするときに大きな意味合いがあると思われる。子供たちが将来運転士になりたいと思ってもらえる機会となり得るこのような取り組みについて、今後の考えはあるか。

#### ○えちぜん鉄道

この電車運転体験は開業5周年のときから実施し、今年で15年目となる。夏休み企画として7月に2回実施するほかに、勝山市や坂井市等の沿線のサポート団体が主催する電車運転体験も実施している。また、毎年西武福井店の体験型福袋として電車運転体験を販売している。今後は、自社企画だけでなく、他の団体とタイアップした企画を増やしていければと考えている。このように地元向けには、電車と親しむきっかけとなる取り組みを行い、将来の運転士につなげていきたい。そのほかにも、北陸新幹線開業に伴う旅行会社の旅行商品造成として、関東方面を中心にツアーで乗っていただく取り組みを行っている。

#### ○委員

報告3-3の指標8の企画列車の運行本数について将来目標が非常に高いところにあるが、運行本数を増やす予定はないのか。

#### ○えちぜん鉄道

北陸新幹線福井開業以降の土日枠は、旅行会社の企画でほぼ埋まってきており、恐竜列車の増便や貸し切り電車企画の追加は厳しい状況となっている。また、電車運転体験企画には、必ず運転士が必要となり、乗務以外での業務となるため、今年に関しては、企画本数を増やす余裕はない状況である。

#### ○委員

報告3-3の指標4の故障等部内原因による鉄道の遅延障害件数が12件とあるが、どういった理由で発生したのか、またその改善策はあるか。

#### ○えちぜん鉄道

部内原因は、車両の故障は6件、電気施設の故障が2件、鉄道係員が原因となるものが4件発生した。再発防止対策のために、同じ型の車両について点検を行った。

## ○委員

ふくい路面電車とまちづくりの会では、毎年カーフリーデーふくいを開催しているが、車に頼らない機運が急激に上がるわけでもなく、公共交通を利用しようと呼び掛けてもなかなか浸透していかない状況に限界を感じている。行政や交通事業者、商工会議所等オール福井で呼びかけを行っていかねばならないと思う。

## ○委員

公共交通を利用しようという機運が高まらないことは、報告3-3の指標6が下がっていることにもつながっていると思われるが、何か理由はあるのか。

## ○事務局

鉄道沿線に比べ幹線道路上に生活利便施設が増えていることが原因の一つではないかと考えている。

## ○委員

経済界が中心として進めているアリーナについて、収容人数5,000席に対し、駐車場は、約80台整備する予定となっている。少なすぎるという批判もあるがこれには二つ理由があり、アリーナ近隣の比較的狭い道路では多くの車を捌き切れないことと、公共交通の需要を増やしたいという思いがある。公共交通機関を利用してもらえば、アリーナでスポーツ観戦やコンサートを鑑賞した後、まちなかでゆっくりと食事やお酒を楽しんでもらえる機会が増えるため、あえて大きな駐車場は作らずに公共交通機関を活用したアリーナを考えている。ぜひ皆さんもご理解いただければと思う。

## ○委員

バスでは2月24日より交通系ICカードを導入した。バス利用者が少ない理由の一つに、目的地で降りるまでに小銭を準備し、降りるときにきちんと運賃が払えるか心配をしながら乗らなければならないストレスがあるからではないかと思われる。そのようなストレスも交通系ICカードを利用することで解消される。鉄道においても交通系ICカードの導入を予定していると思うが、気軽に鉄道やバスに乗ってもらえるよう、互いに協力して交通系ICカードを推進していければと考えている。

## ○委員

えちぜん鉄道において交通系ICカードの具体的な導入時期は決まっているのか。

## ○えちぜん鉄道

IC化に伴う車両の改修工事や駅係員の研修等があり、全体スケジュールが固まっておらず、まだ明確な時期は決まっていないが、次年度中には実施の予定である。

## ○委員

えちぜん鉄道のホームページは、電車とバスの乗り継ぎについて、非常に分かりやすく紹介されていてとてもよいと思っている。観光用コミュニティバスをはじめ、鉄道からバスの接続が短時間でのご案内となっているが、仮に電車が若干遅れるようなことがあるときはどのように対応しているのか。今後、観光客が県内の東尋坊や恐竜博物館等の主要観光地に行

く中で、えちぜん鉄道を利用される方が安心して乗り継ぎできるようになっているのか。

#### ○えちぜん鉄道

当社の方で遅れが発生したことで、乗り継ぎ時間が1、2分と短くなってしまう場合、あわら湯のまち駅や永平寺口駅等では、駅の係員がバス乗り場のバス運転士へ少し待っていただくよう連絡したり、お客様の確認をしてから出発していただくようお願いをしている。勝山駅については、遅れた電車の到着を待ってから、バスを出発してもらっている。遅れ全てに対応できるわけではないが、少し待って乗り換えができるタイミングであれば、そのように対応している。

※他に意見がないことを確認し、その他 終了。

閉会